

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	美術表現	2	3年次・J2群	自由選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
1日で描く油絵の基本 （株式会社ホビージャパン）		（油絵具セット、キャンバスボード）		自由選択 美術系の進学希望者は履修が望ましい。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
(1) 油彩の表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けるようにする。 (2) 油彩の表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 (3) 絵画表現の可能性を追求する態度を養う。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
油彩の表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けている。	油彩の表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力を身に付けている。	油絵の美術作品やその文化と深く関わり、絵画表現の可能性を追求する態度を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	絵画	油絵の基礎 1 画材の使い方 ・絵具と溶き油の使い方 ・筆とナイフの使い方、洗い方、後処理の方法 ・絵の具の基本色、絵の具を混色する時の注意点 静物画 1 りんごの油彩画 ・基本的な油絵の描き方 ・下塗りを活かして描く 2 鑑賞と講評 ・相互鑑賞、相互評価	4	・画材の使い方を理解できるようにする。 ・油絵具の特徴を理解できるようにする。	1 3
			5 6	・りんごを描くことによって、油絵道具の使い方や様々な技法を体験する。 ・よく対象を観察し、光と陰影、色彩に注意して制作する。 ・光や立体感を感じられるよう、色の作り方、塗り方を工夫する。	1 2 3	
			7	・完成した作品を鑑賞し、相互評価することにより、自分の成果や課題を見付ける。	2 3	
2 学 期	絵画	手の油彩画 1 手の撮影 ・手のポーズや光源を定め、撮影する 2 制作 ・下塗りから完成までを見通した色の重ね方 ・色彩感の豊かな表現 ・筆の運び方 ・マチエールの特徴 ・仕上げ 3 鑑賞と講評 ・相互鑑賞、相互評価	9	・光源を意識し、明暗を捉えやすいポーズを考える ・視点や構図に注意しながら画面に取り入れる工夫をする。 ・皮膚のぬくみのある色彩を工夫する。	1 2 3	
		10 11	1 2 3			
		12	・完成した作品を鑑賞し、相互評価することにより、自分の成果や課題を見付ける。	2 3		
3 学 期	絵画	風景画 「思い出」を描こう 1 構図について 2 制作 ・油彩表現の応用 3 鑑賞と講評 ・相互鑑賞、相互評価	1	・風景の中で、奥行きや広がり的美しさを感じられる場所を見つけて表現の構想を練る。 ・身近なものの形や色の特徴を捉え、透視図法や彩色を工夫しながら制作する。 ・完成した作品を鑑賞し、相互評価することにより、自分の成果や課題を見付ける。	1 2 3 1 2 3 2 3	

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○油彩の表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けているか。	○油彩の表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力を身に付けているか。	○油絵の美術作品やその文化と深く関わり、絵画表現の可能性を追求する態度を身に付けているか。
	手 段	・制作の様子 ・ワークシート ・作品	・制作の様子 ・ワークシート ・作品	・制作の様子 ・ワークシート ・作品
	価 値	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		・作品や授業態度などと総合的に判断して評価する。 ・定期考査は行わない。
学習上の留意点		・様々な画材や材料を使用するため、教材費として5000円程度を徴収する。 ・定期考査は実施しないため、積極的な態度で授業に参加し、作品を必ず完成させること。		